

あ…う…も。  
このままでも…あ、はら…。

はい、4年と3ヶ月ほどでしょうかね、ここにいたのは。

切っ掛け…切っ掛けですか。分かりませんか。…これですかね。このベンチに座ったから、と…いうことでは駄目ですかね。

そうですね。おかしいでしょ…うけれど、立ち上がろうとしたらもう立てなくなっていたのです。

…どうして…ですか…何と言いますか、立ちあがる意味と言いますか、価値と言いますか、それを失ってしまったようでした。

…いや、少し違いますね。全ての価値が全く等しくなってしまったので、全てに対する意味を失ってしまった、という感じですよ。すとん、と一気に全てが、10なのか5なのか0なのか、どれにしたって同じなのですが、等しいものになってしまったようです。立ち上がろうとするまで気づきませんでした。

全く等しいので比べられないのです。立ちあがることも、座ったままでいることも、その後にくらゆることも、どれもが等価なので、現状を受け入れるばかりになる、と言いますか…。

魅力…そうなのでしょうね。自覚しているにしろ、していないにしろ、相対的に物事の価値を比較して行動しているのでしょうね。その比較を私ベンチに座ってからのどこかで、出来なくなっていました、ということですね。

ええ、そうかもしれませんが。それが、歩いている時に訪れていたらそのまま家へ帰っていたでしょう。家族で食卓を囲んでいる時だったとしたら、知らずにそのままの生活を続けていたのかも知れません。私にはこのベンチで訪れた、という…タイミング…ですね。

あ、はい…妻と娘が。

ここに来てからは会っていません。二ヶ月ほど前でしょうか。当時住んでいたマンションへ行ってはみましたが。

いえ、もう住んではいませんでした。

何度も通ったので覚えていますが…煙草吸っても良いでしょうか…どうも。

仕事帰りです。

いえ。会社は地方にあります。私は産業機械の設計をやっていたのですが、マシンングセンタなどはご存じですか。…そうですね…要は金属加工を行って組み立てる機械なのですが、そういった産業機械の受注先がこの近くで、設計内容の打ち合わせで訪れました。

どうして…どうしてなのでしょうね。春と夏の間の夕方か…いやもう夜でしたか、まあ、この私たちの上に葉を茂らせている、この木が精液のような匂いを出していた頃でしたね。ただ何となく帰り際にここへ足が向いて、何となく座り、そのまま立てなくなりました、ということですよ。

疲れていたわけではなかったと思います。そうだったのかもしれませんが…覚えていません。久しぶりの大型案件でしたから、それなりのプレッシャーはあったと思います。でも、それよりも嬉しさの方が大きかったように思います。今も、だとは思いますが、当時もあの業界は厳しくて。メンテナン

えばかりで新規受注もなかったの。

大丈夫です、持っていますから。ここに住んでいましたしね、どこで誰が生活をしているかなんて分からないですから。

あ、すみません、そうです、そのままベンチで寝ました。

はい、ずっと。

あなたと話っていて気づいたようなものですね。日がな一日ここに座って、まあこのような場所ですからあまり人は通りませんが、それでも一日ですから、目の前を何人もが行き交います。そのことにどんな意味がありますか。過ぎ去る見知らぬ人が家族と等価といえは、重要なことのようにも思えますし、不仁のようにも思えます。どこから見るか、ということですよ、きっと。

あなたのような若者がどうして、こんな陽気の日に、私に話を聞きにきているのだろうか、ということから、ですよ。

そうですね、それでもまだ十分若いですよ。

他にも選択肢はいくつもあったと思いますが、あなたにとっては、今ここにいることが他のどれよりも価値があると感じたということでしょう。他の選択肢も、選択肢として挙がっている以上、無価値ということも無いでしょうから。

この先の糧になるか、という保証は影響しないのでしょうかね。

はい、あの日もここに座っていました。

ええ。最後の日です。

あの日は、皆同じ顔で、同じ速さで過ぎていくのですよ。左から右に、同じ方向へ。帰るのだから、とは分かりました。ただいつもでしたら、夕方過ぎくらいに少し増えるだけで、その後はバッテリーと誰も通らなくなるのですが、あの日はいつまで経っても途切れることがなくて、夜が更ければ更ける程、人が増えましたね。

ああ、そうだったのですか。

朝方、まではいっていませんが、列の最後に連なって、ここを離れました。

あれはどこだったのでしょうかね。

分かりません。何かに少しだけ価値が生まれた、ということですかね。何か、分かりませんが…寂しさ、とかでしょうか。分からないことに価値を見つけているというのは、でも誰にでもあるでしょう。あなたのこの行為も、そこに含まれているように、私には思えますし。

今、ですか。今はまあこのようなものです。